
アルスのハンター日記

夢幻

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アルスのハンター日記

【Nコード】

N7937J

【作者名】

夢幻

【あらすじ】

ベテラン(?)ハンターのアルスの日記。

不定期更新予定。

アルスのハンター日記

(1988/3/4)

(前書き)

お久しぶり。

sondake. www

アルスのハンター日記 (1988/3/4)

「おい……。何をどうしたら此処で遭難するんだ？」

俺は思わず相方のバジルに呟いた。

今、俺達が居るのはガルガの森である。

この森はモンスターハンター初心者挑む森として有名な場所である。

だが俺達はハンターを初めて既に3年……。いや4年ぐらいは経過しているだろうか？

とにかく、それぐらいハンターと言うものを経験しているのである。

だが何故か知らないが俺達はこのガルガの森には来た事がなかった。

だから試しに行ってみようという話になり来たのだが……。

「バジル……お前って奴は……。」

「すまん。」

すまんて済んだらとっくに解決しているさ。

だが解決していないのが現況である。

「仕方がない。とりあえず直進するぞ。」

それぞれが一番苦手な武器と言っ事になったのだ。

「行くぜ……。」

バジルがランスで突っ込んでいく。

よし。凄まじい威力だったので一発で部位破壊だ。

そこへ俺が数発弾丸を撃ちこめば……。終わった。

「良かった……。」

俺は安堵の溜息をつくと出口を目指し、またバジルと共に歩き始めた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7937j/>

アルスのハンター日記

2010年10月10日03時47分発行